

# 2026年02月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

業務が合わないと感じたとき、「まず相談」ではなく  
「最初から退職に向けて動く」人の割合は年代が上がるにつれて増加

株式会社アイデム

メディアソリューション事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2026/02/01～2026/02/28の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2026/02/02～2026/03/05（32日間）

## 調査方法

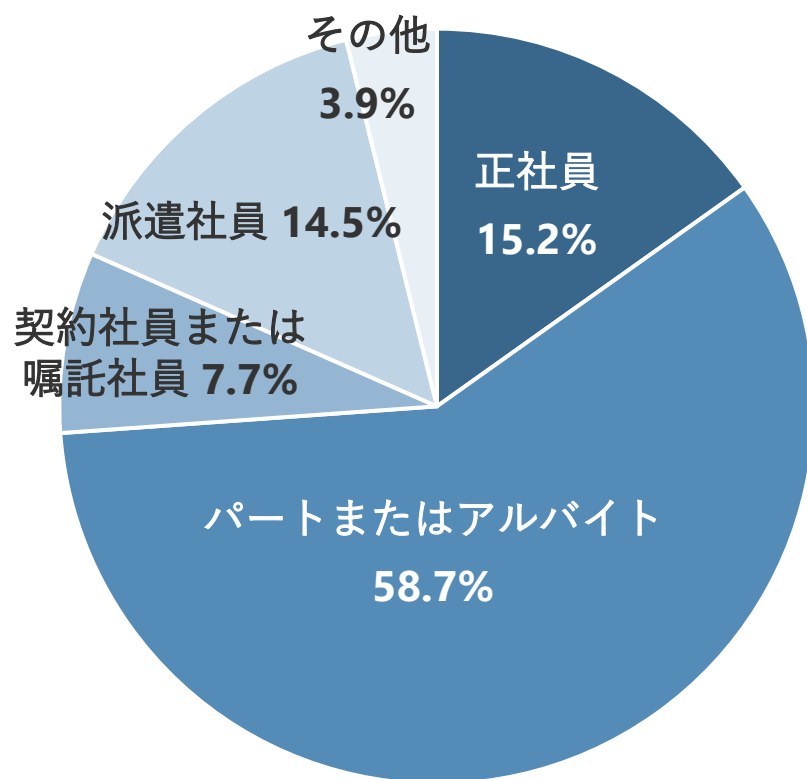
- ▶インターネットリサーチ

## 有効回答数

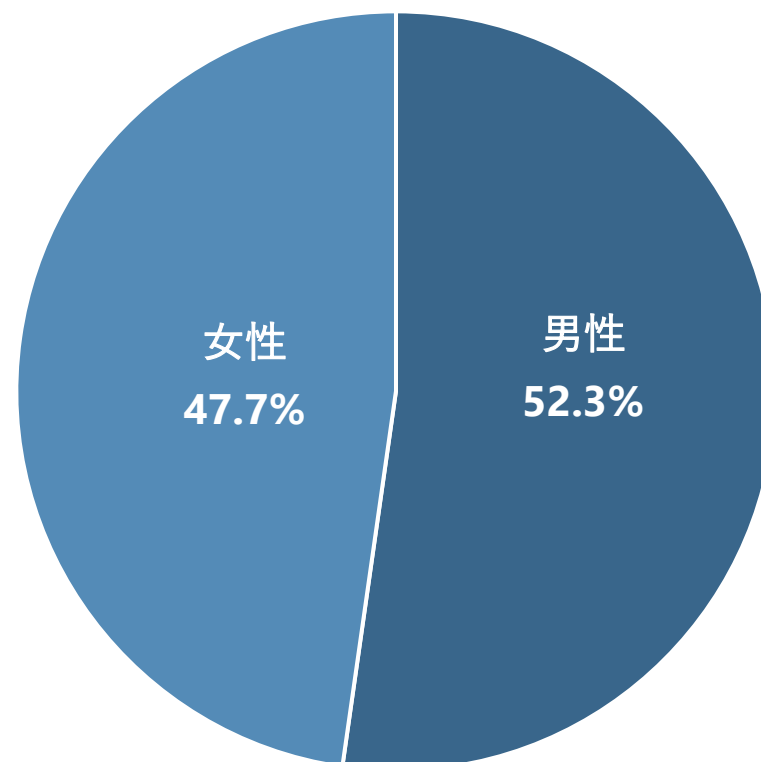
- ▶310件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

## 希望する雇用形態



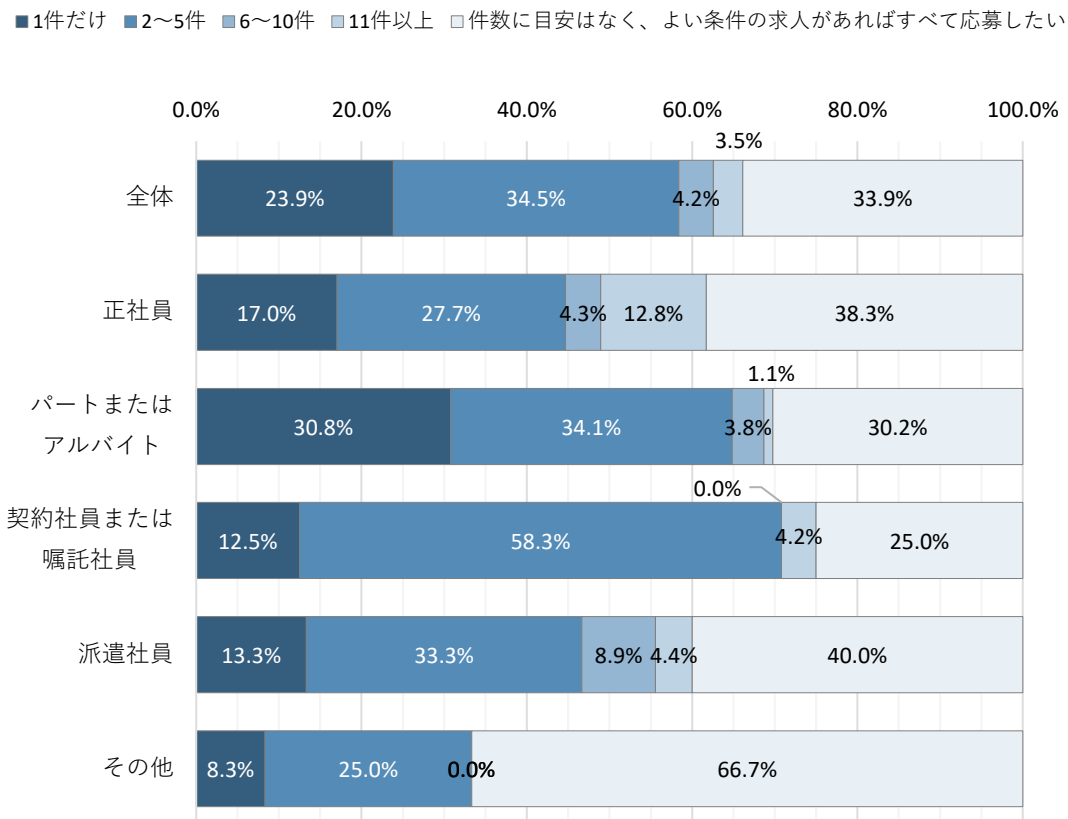
## 性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかをきいた。全体では、「2~5件」が最も多く34.5%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が33.9%、「1件だけ」が23.9%、「6~10件」が4.2%、「11件以上」が3.5%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割弱となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では「よい条件の求人があればすべて応募したい」は38.3%で、「パートまたはアルバイト」と比べると高い割合だった。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が30.8%、「2~5件」が34.1%だった。「正社員」を希望している人と比べると、ある程度応募数に目安を設けて活動している割合が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。



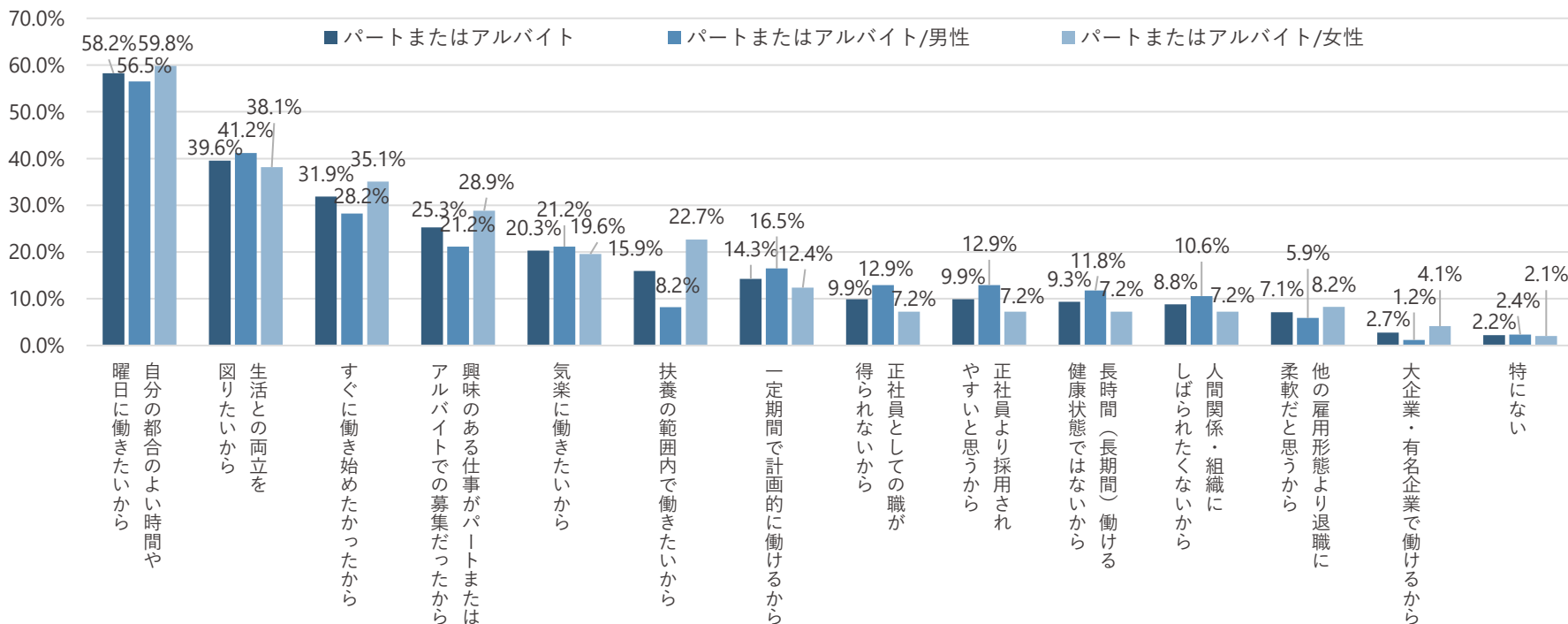
# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で58.2%、次いで「生活との両立を図りたいから」が39.6%、「すぐに働き始めたかったから」が31.9%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「正社員としての職が得られないから」と「正社員より採用されやすいと思うから」が5.7pt高かった。どちらも正社員雇用と比べた理由ではあるが、消極的な背景もあるようだ。

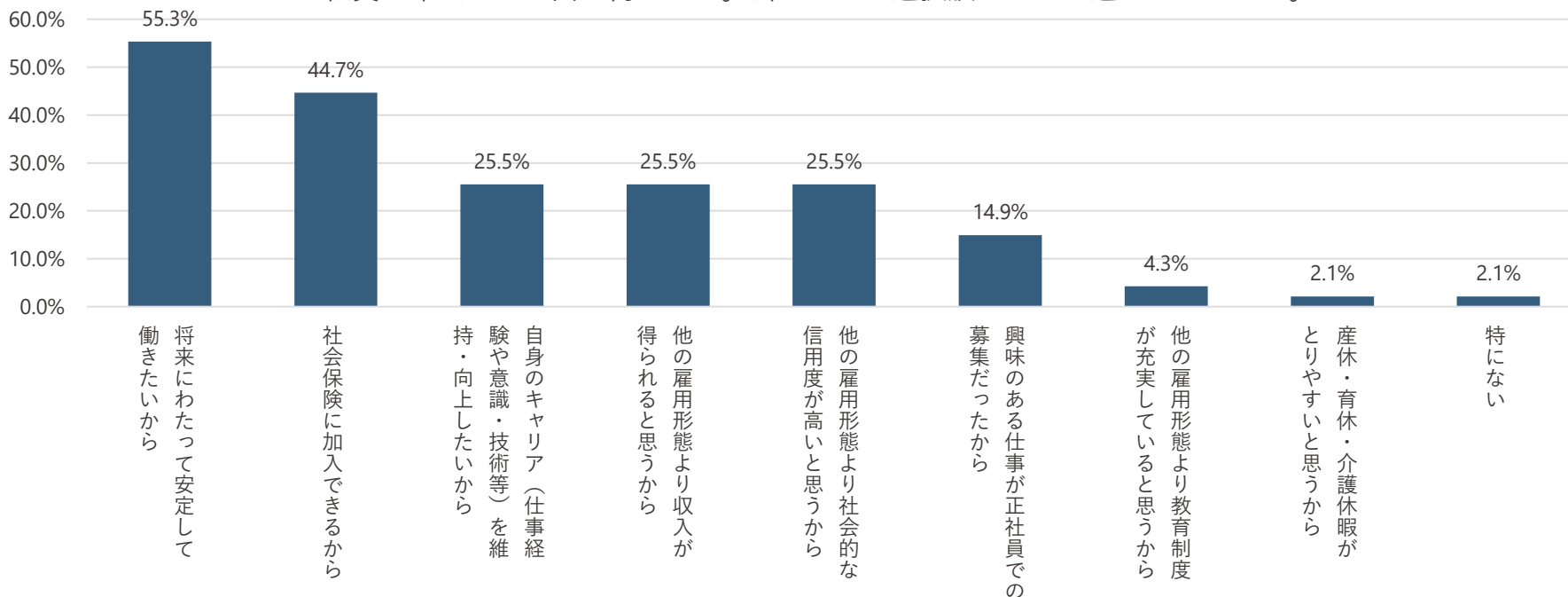
一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が14.5pt、「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」が7.7pt、「すぐに働き始めたかったから」が6.9pt高くなった。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が55.3%、次いで「社会保険に加入できるから」が44.7%となっている。「特にない」は2.1%で、ほとんどの人が理由をもって正社員を希望していることがわかる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



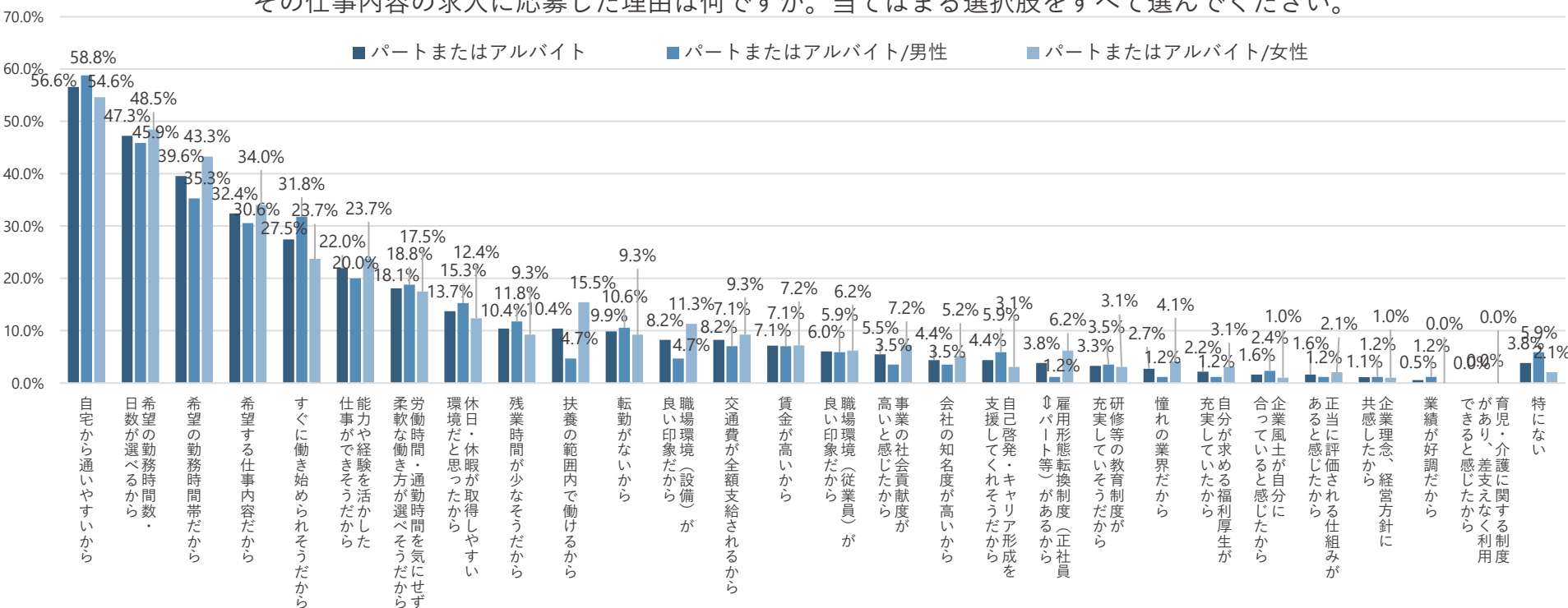
# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で56.6%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が47.3%、「希望の勤務時間帯だから」が39.6%となった。限られた時間の中で就労をしたいことから、通いやすさも同時に意識していることがわかる。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が8.1pt高くなった。応募時点から就業開始までの期間が短いことが分かっていると、目に留まりやすいのかもしれない。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が10.8pt、「希望の勤務時間帯だから」が8.0pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が6.6pt高くなった。制限のある中でも柔軟に勤められる仕事を探していることがわかる。

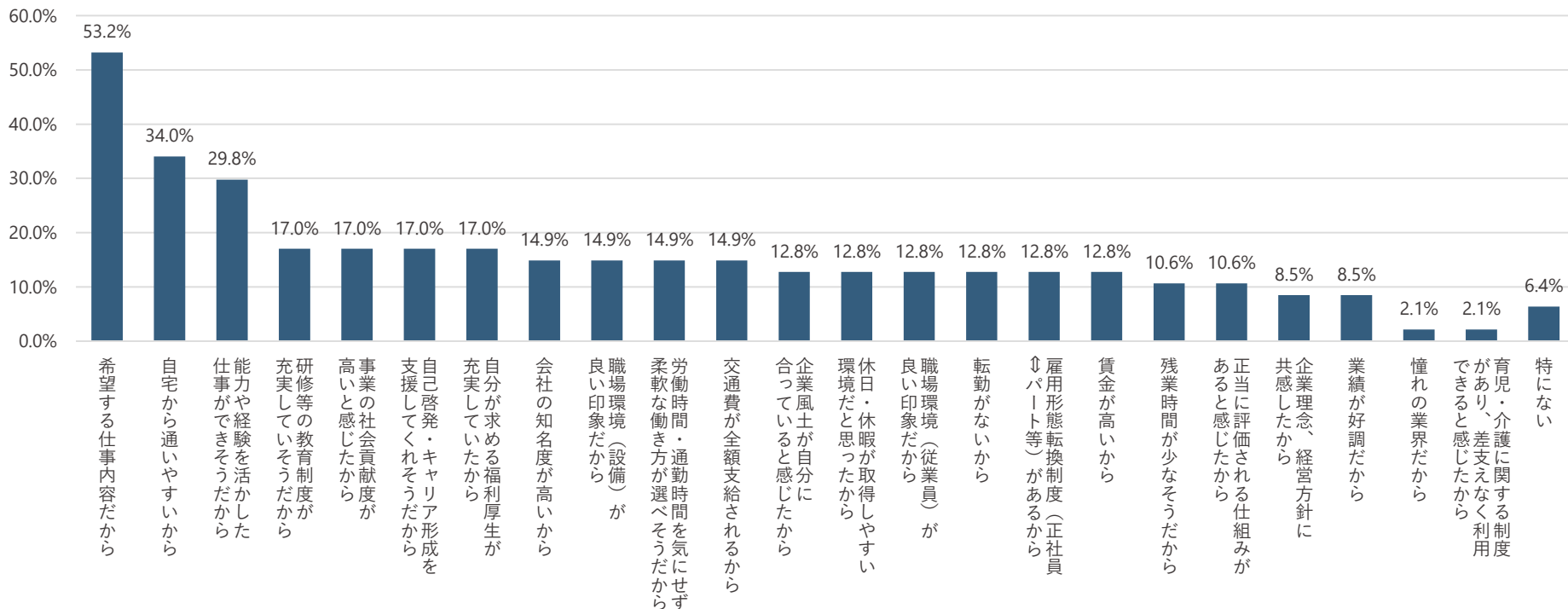
その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」が53.2%、「自宅から通いやすいから」が34.0%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が29.8%となった。任される職務や、これまでの経験に注目して選んでいる傾向がうかがえる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



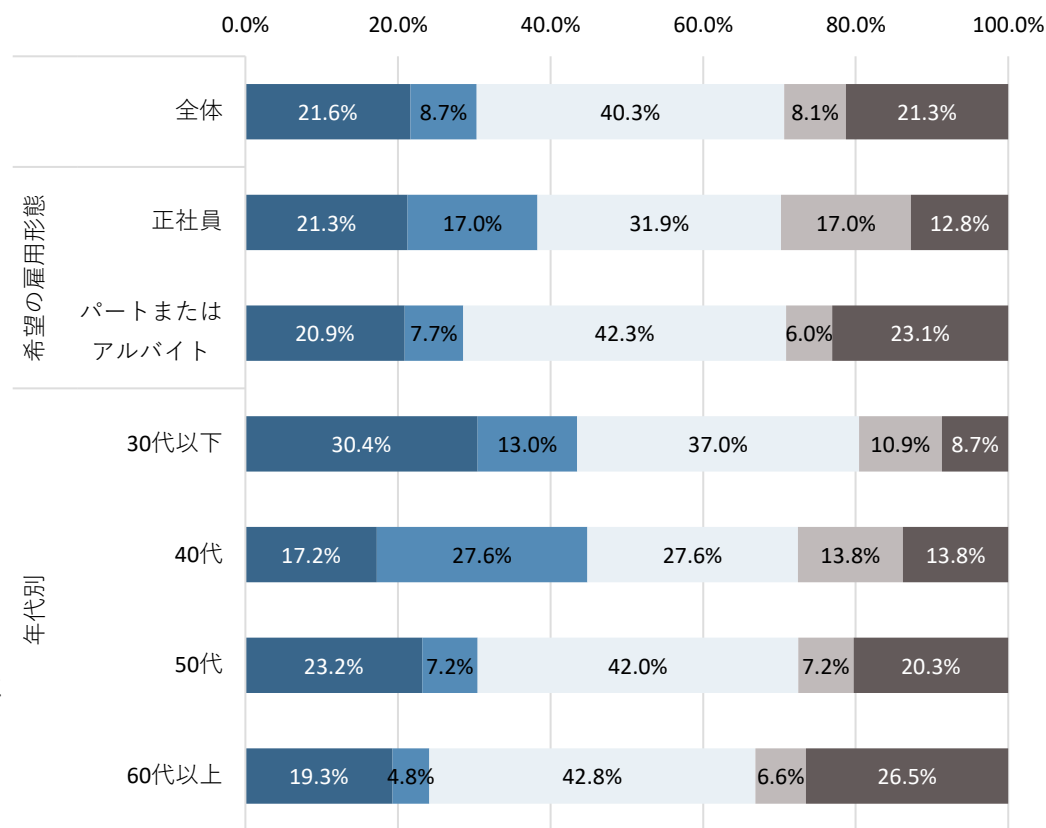
イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、新しい職場での業務内容が合わないと感じることがあった場合、最初にとりそうな対応をきいた。なお、就労経験がない人には、働いた場合を想像して答えてもらった。

全体では、「仕事量や姿勢は変えず、様子を見る」が最も多く40.3%、次いで「社内のだれかに相談する」が21.6%、「退職や転職活動に向けて動く」が21.3%となった。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「社外のだれかに相談する」が17.0%で、全体よりも8.3pt高くなった。4割弱は、まずはだれかに相談することを選ぶようだ。一方、「仕事量や努力を抑えて、最小限の関与に留めるようにする」という、いわゆる「静かな退職」も「正社員」では17.0%に上り、全体よりも高くなった。

年代別にみると、「30代以下」では「社内のだれかに相談する」が30.4%でほかの年代より高い。また、「社内のだれかに相談する」と「社外のだれかに相談する」を合わせた「相談する派」は年代が上がるにつれてその割合が減少する傾向がみられる。一方、「退職や転職活動に向けて動く」は年代が上がるほどその割合は増加する傾向があり、「60代以上」では26.5%と約1/4が離職につながる動きをとる回答となった。

- 新しい職場での業務内容が合わないと感じることがあった場合、あなたが最初にとりそうな対応として最も近いものを1つ選んでください
- 社内のだれかに相談する
  - 社外のだれかに相談する
  - 仕事量や姿勢は変えず、様子を見る
  - 仕事量や努力を抑えて、最小限の関与に留めるようにする
  - 退職や転職活動に向けて動く



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、新しい職場での業務内容が合わないと感じるがあった場合に、職場に相談を持ち掛けようと思うにはどんな条件が重要かをきいた（最大3つ）。全体では、「相談した結果が改善や見直しにつながる」が41.0%、次いで「対応スピードがはやい」が35.2%、「普段から、気軽に従業員が相談をする習慣がある」が34.8%となった。相談者の悩みを解決できることがよりよいことだが、たとえ相談された事柄が解決できなくても、それを言える環境や内容に寄り添う姿勢が求められているのかもしれない。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「だれにどんな方法で相談できるかが分かりやすい」が42.6%で最も高くなった。話を聞いてもらいたいタイミングで行動できるように、方法と対象を把握しておきたいようだ。

業務内容が合わないと感じるがあった場合にどんな行動に移るか（P9）で「社内のだれかに相談する」と「社外のだれかに相談する」を「相談する派」、「仕事量や姿勢は変えず、様子を見る」を「様子を見る派」、「仕事量や努力を抑えて、最小限の関与に留めるようにする」と「退職や転職活動に向けて動く」を「離脱派」として集計した。「相談する派」では「相談した結果が改善や見直しにつながる」と「普段から、気軽に従業員が相談をする習慣がある」が全体より高くなった。「様子を見る派」では、「定期的に会社側から状況を聞いてくれる」が全体より高かった。「離脱派」では、「対応スピードがはやい」が最も回答を集めた一方、「相談した結果が改善や見直しにつながる」が全体より低くなった。

新しい職場での業務内容が合わないと感じるがあった場合に、職場に相談を持ち掛けようと思うにはどんな条件が重要だと思いますか？（最大3つ）

